

---

# **2025年度 電気機器の見通し**

**2025年3月13日**

**一般社団法人日本電機工業会**

## 1. 経済の概況

## 2. 2024年度の見込み

2-1 重電機器分野

2-2 白物家電機器分野

## 3. 2025年度の見通し

3-1 重電機器分野

3-2 白物家電機器分野

## ■ 参考資料

---

## 1. 経済の概況

- IMF世界経済見通し（1月）では、世界経済の成長率は2025年と2026年をともに3.3%と予測。昨年10月の予測から2025年は0.1ポイント上方改定され、2026年は据え置きとなった
- 世界経済の成長は安定し続ける見通しだが、2000～2019年の平均成長率3.7%を下回り、勢いに欠ける
- 日本経済は一部に足踏みが残るものの緩やかに回復している
- 先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される
- ただし、米国の政策動向、中東地域やウクライナをめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある

---

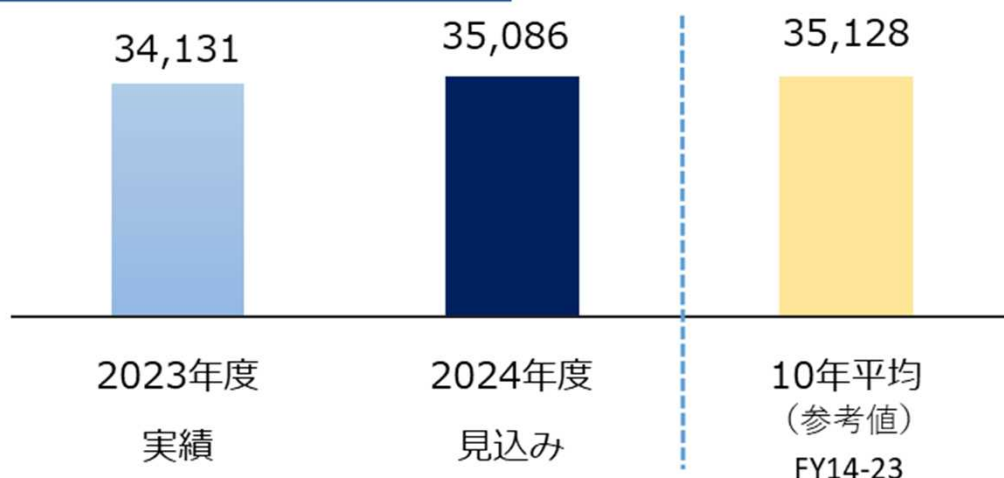
## 2. 2024年度の見込み

## 2-1 重電機器 概況



### 重電機器 2024年度 国内生産見込み 3兆5,086億円（前年度実績比102.8%）

重電機器 国内生産金額（億円）



- 発電用原動機分野は、ガスタービンの輸出向けが伸長し前年度を**上回る**見込みである
- 国内、海外ともに半導体、電子部品産業向けの設備投資抑制の解消が遅れており、FA機器（サーボモータ、プログラマブルコントローラ、汎用インバータ）は、通期では前年度を**下回る**見込みである
- なお、原材料価格の高騰や、部品の供給制約は落ち着きをみせている

単位：億円、%	23年度 実績	24年度 見込み	前年度 実績比
重電機器 国内生産	34,131	35,086	102.8

#### 【備考】

1. 国内生産実績は、経済産業省「生産動態統計調査」による
2. 国内生産見込みは、JEMAが策定した

## 2-1 2024年度 国内生産見込み（重電機器）



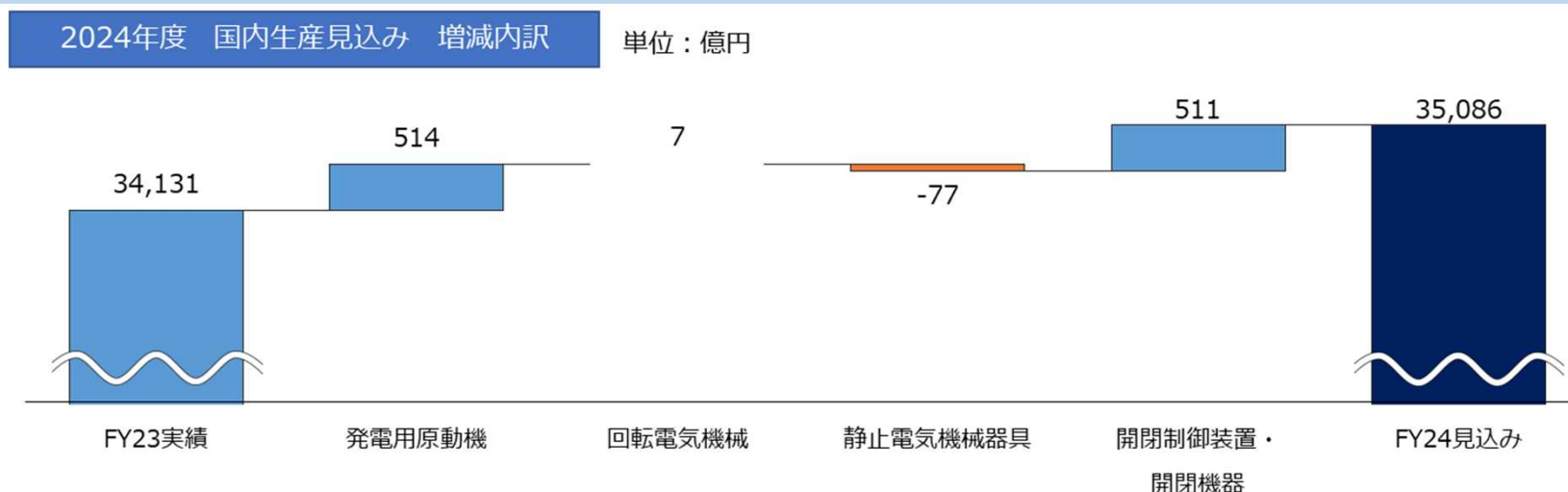
(単位: 億円、%)	2023年度 実績	2024年度 見込み	前年度 実績比
重電機器合計(1+2+3+4)	34,131	35,086	102.8
1.発電用原動機計	2,495	3,009	120.6
ボイラ	1,059	912	86.1
蒸気タービン	504	446	88.5
ガスタービン	932	1,652	177.2
2.回転電気機械計	9,696	9,703	100.1
うち交流発電機	997	892	89.5
うち交流電動機	3,402	3,738	109.9
うちサーボモータ	952	815	85.6
3.静止電気機械器具計	6,913	6,836	98.9
うち変圧器	2,528	2,652	104.9
うち電力変換装置	3,576	3,213	89.8
うち汎用インバータ	995	740	74.4
うちサーボアンプ	988	813	82.3
4.開閉制御装置・開閉機器計	15,026	15,537	103.4
うち監視制御装置	2,344	2,428	103.6
うち低圧開閉器・制御機器	5,334	4,949	92.8
うちプログラマブルコントローラ	1,236	870	70.4

備考 1: 国内生産実績は、経済産業省「生産動態統計」による

2024年度見込みは、JEMAが策定した

2: 端数四捨五入のため、積み上げ値と合計が一致しない場合がある

## 2-1 2024年度 国内生産見込み 増減内訳（重電機器）



主な増減要因	
発電用原動機	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガスタービンは、輸出向けの伸長により前年度を<b>大幅に上回る</b>見込み</li> <li>ボイラ、蒸気タービンは、国内、輸出共に前年度を<b>下回る</b>見込み</li> </ul>
回転電気機械	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流発電機は、国内向けが低調であり、前年度を<b>下回る</b>見込み</li> <li>交流電動機は、国内需要が回復に向かい、前年度を<b>上回る</b>見込み</li> <li>サーボモータは、国内、輸出ともに半導体、電子部品産業向けの設備投資抑制の解消が遅れており、通期では前年度を<b>下回る</b>見込み</li> </ul>
静止電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> <li>変圧器は、国内のビル、工場や電力業向けが増加し、前年度を<b>上回る</b>見込み</li> <li>電力変換装置は、国内、輸出ともに半導体、電子部品産業向けの設備投資抑制の解消が遅れており、内訳の汎用インバータ、サーボアンプが減少し、通期では前年度を<b>下回る</b>見込み</li> </ul>
開閉制御装置・開閉機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>監視制御装置は、国内製造業、電力業向けが堅調であり、前年度を<b>上回る</b>見込み</li> <li>低圧開閉器・制御機器は、内訳のPLC（プログラマブルコントローラ）が国内、輸出ともに半導体、電子部品産業向けの設備投資抑制の解消が遅れており、通期では前年度を<b>下回る</b>見込み</li> </ul>

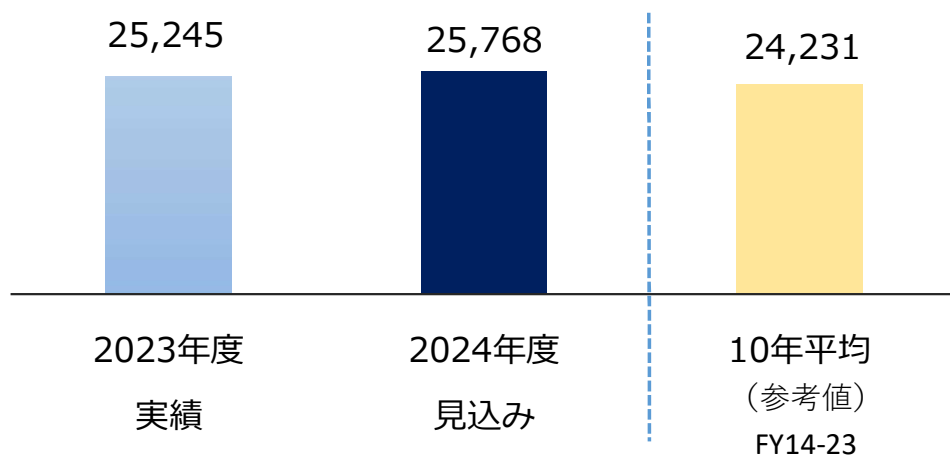


## 2-2 白物家電機器 概況



白物家電機器 2024年度 国内出荷見込み 2兆5,768億円（前年度実績比102.1%）

白物家電機器 国内出荷金額（億円）



- 夏の記録的な猛暑および、冬の寒波により、ルームエアコンの国内出荷が好調だった。また、電気シェーバー、ヘアドライヤー等の理美容機器も好調に推移したことにより、国内出荷金額は前年度を**上回る**見込みである
- 直近の10年平均（2兆4,231億円）を上回る高い水準である

単位：億円、%	23年度 実績	24年度 見込み	前年度 実績比
白物家電機器 国内出荷	25,245	25,768	102.1

### 【備考】

- 国内出荷実績は、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計（ルームエアコン）による
- 国内出荷見込みは、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計（ルームエアコン）をベースにJEMAが策定した

## 2-2 2024年度 国内出荷見込み（白物家電機器）



(単位:億円、%)	2023年度 実績	2024年度 見込み	前年度 実績比
白物家電機器合計	25,245	25,768	102.1
ルームエアコン	7,820	8,371	107.0
電気冷蔵庫	4,300	4,110	95.6
電気洗濯機	3,943	3,839	97.4
ジャー炊飯器	1,007	1,043	103.6
電子レンジ	912	950	104.2
電気シェーバー	506	573	113.1
その他(上記品目以外)	6,757	6,884	101.9

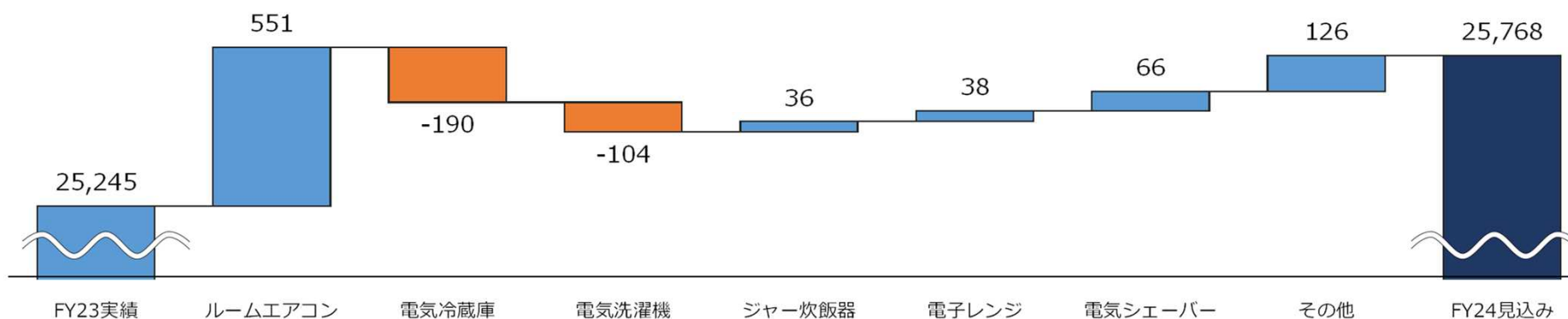
### 【備考】

- 1: 国内出荷実績は、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)による
- 2: 国内出荷見込みは、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)をベースにJEMAが策定した
- 3: 端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合がある

## 2-2 2024年度 国内出荷見込み増減内訳（白物家電機器）

2024年度 国内出荷見込み 増減内訳

単位：億円



主な増減要因	
ルームエアコン	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏の記録的な猛暑に加え、冬の寒波による暖房需要もあり、前年度を<b>上回る</b>見込み</li> </ul>
電気冷蔵庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>買い替えサイクルの長期化や、世帯構成人員の減少による大型→中型シフト等により、前年度を<b>下回る</b>見込み</li> </ul>
電気洗濯機	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドラム式洗濯乾燥機へのシフトの一方で、タテ型の需要はさらに減少し、前年度を<b>下回る</b>見込み</li> </ul>
ジャー炊飯器 電子レンジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の需要増の反動減が底を打つとともに、高機能高付加価値製品の人気単価を押し上げ、前年度を<b>上回る</b>見込み</li> </ul>
電気シェーバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>インバウンド需要や高機能高付加価値製品の人気により、前年度を<b>上回る</b>見込み</li> </ul>

---

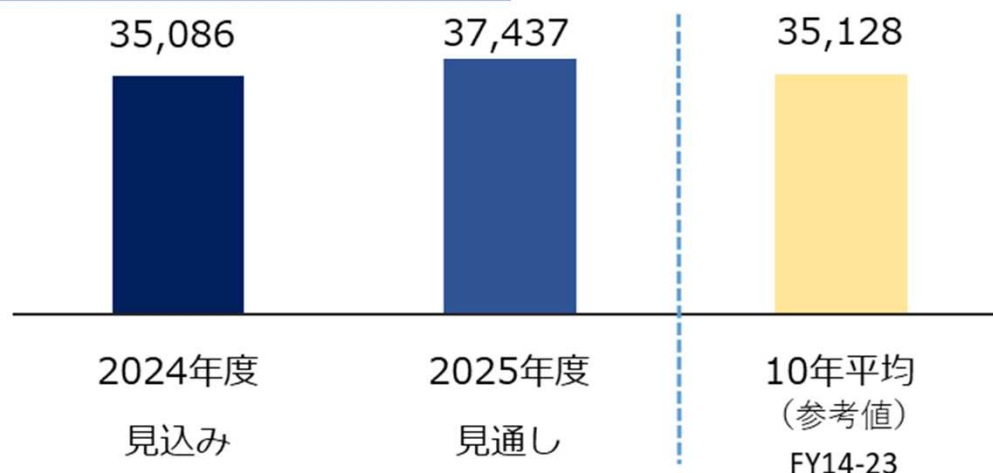
### 3. 2025年度の見通し

### 3-1 重電機器 概況



## 重電機器 2025年度 国内生産見通し 3兆7,437億円（前年度見込比106.7%）

重電機器 国内生産金額（億円）



- 前年度に引き続き、発電用原動機分野は、ガスタービンの輸出向けが伸長し前年度を**上回る**見通しである
- 国内、海外ともに半導体、電子部品産業向けの設備投資抑制が解消し、FA機器(サーボモータ、プログラマブルコントローラ、汎用インバータ)は前年度を**上回る**見通しである
- なお、原材料価格の高騰や、部品の供給制約は落ち着く見通しで、これを機に適正な価格転嫁が進むと想定している

単位：億円、%	24年度 見込み	25年度 見通し	前年度 見込比
重電機器 国内生産	35,086	37,437	106.7

【備考】国内生産見込み、見通しは、JEMAが策定した

### 3-1 2025年度 国内生産見通し（重電機器）



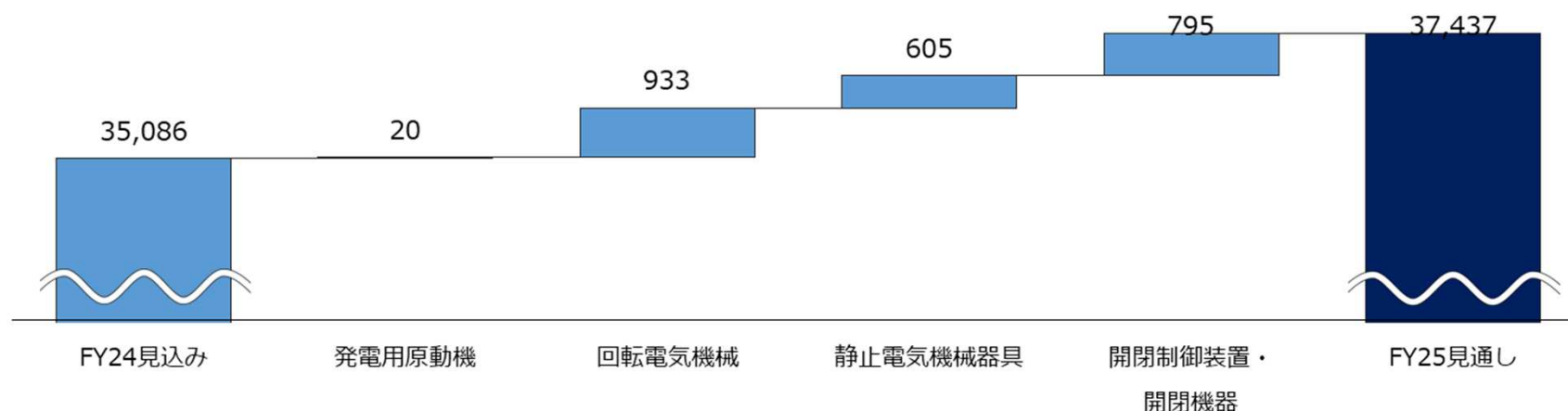
(単位:億円、%)	2024年度 見込み	2025年度 見通し	前年度 見込比
重電機器合計(1+2+3+4)	35,086	37,437	106.7
1.発電用原動機計	3,009	3,029	100.7
ボイラ	912	528	57.9
蒸気タービン	446	417	93.6
ガスタービン	1,652	2,084	126.2
2.回転電気機械計	9,703	10,636	109.6
うち交流発電機	892	992	111.2
うち交流電動機	3,738	4,061	108.6
うちサーボモータ	815	943	115.6
3.静止電気機械器具計	6,836	7,441	108.8
うち変圧器	2,652	2,953	111.4
うち電力変換装置	3,213	3,608	112.3
うち汎用インバータ	740	889	120.1
うちサーボアンプ	813	940	115.6
4.開閉制御装置・開閉機器計	15,537	16,332	105.1
うち監視制御装置	2,428	2,350	96.8
うち低圧開閉器・制御機器	4,949	5,436	109.8
うちプログラマブルコントローラ	870	980	112.6

備考 1: 国内生産実績は、経済産業省「生産動態統計」による  
2024年度見込み、2025年度見通しは、JEMAが策定した  
2: 端数四捨五入のため、積み上げ値と合計が一致しない場合がある

### 3-1 2025年度 国内生産見通し 増減内訳（重電機器）

2025年度 国内生産見通し 増減内訳

単位：億円



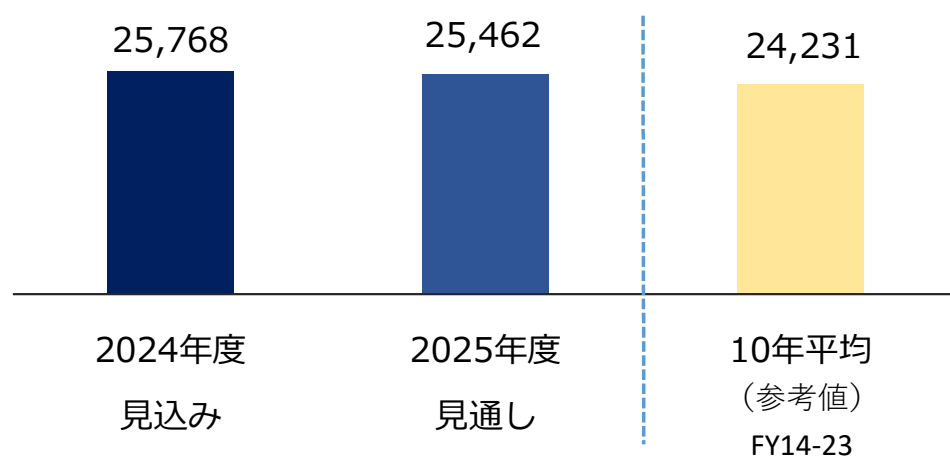
主な増減要因	
発電用原動機	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガスタービンは、前年度に続き輸出向けの伸長により前年度を<b>上回る</b>見通し</li> <li>ボイラ、蒸気タービンは、国内、輸出共に前年度を<b>下回る</b>見通し</li> </ul>
回転電気機械	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流発電機は、国内、輸出共に増加し、前年度を<b>上回る</b>見通し</li> <li>交流電動機は、国内需要の回復が継続し、前年度を<b>上回る</b>見通し</li> <li>サーボモータは、国内、輸出ともに半導体、電子部品産業向けの設備投資抑制が解消し、前年度を<b>上回る</b>見通し</li> </ul>
静止電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> <li>変圧器は、前年度に引き続き、国内のビル、工場や電力業向けが増加し、前年度を<b>上回る</b>見通し</li> <li>電力変換装置は、国内、輸出ともに半導体、電子部品産業向けの設備投資抑制が解消し、内訳の汎用インバータ、サーボアンプが増加し、前年度を<b>上回る</b>見通し</li> </ul>
開閉制御装置・開閉機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>監視制御装置は、国内製造業、電力業向けが減少し、前年度を<b>下回る</b>見通し</li> <li>低圧開閉器・制御機器は、内訳のPLC(プログラマブルコントローラ)が国内、輸出ともに半導体、電子部品産業向けの設備投資抑制が解消し、前年度を<b>上回る</b>見通し</li> </ul>

## 3-2 白物家電機器 概況



**白物家電機器 2025年度 国内出荷見通し 2兆5,462億円（前年度見込比98.8%）**

白物家電機器 国内出荷金額（億円）



- 賃上げによる消費者マインドの上昇が期待できる一方で、前年が好調だったルームエアコンの反動減もあり、国内出荷金額は前年度を**下回る**見通しである
- ただし、直近の10年平均（2兆4,231億円）を上回る水準は維持する見通し

単位：億円、%	24年度 見込み	25年度 見通し	前年度 見込比
白物家電機器 国内出荷	25,768	25,462	98.8

### 【備考】

1. 国内出荷実績は、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計（ルームエアコン）による
2. 国内出荷見込み、見通しは、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計（ルームエアコン）をベースにJEMAが策定した



### 3-2 2025年度 国内出荷見通し（白物家電機器）

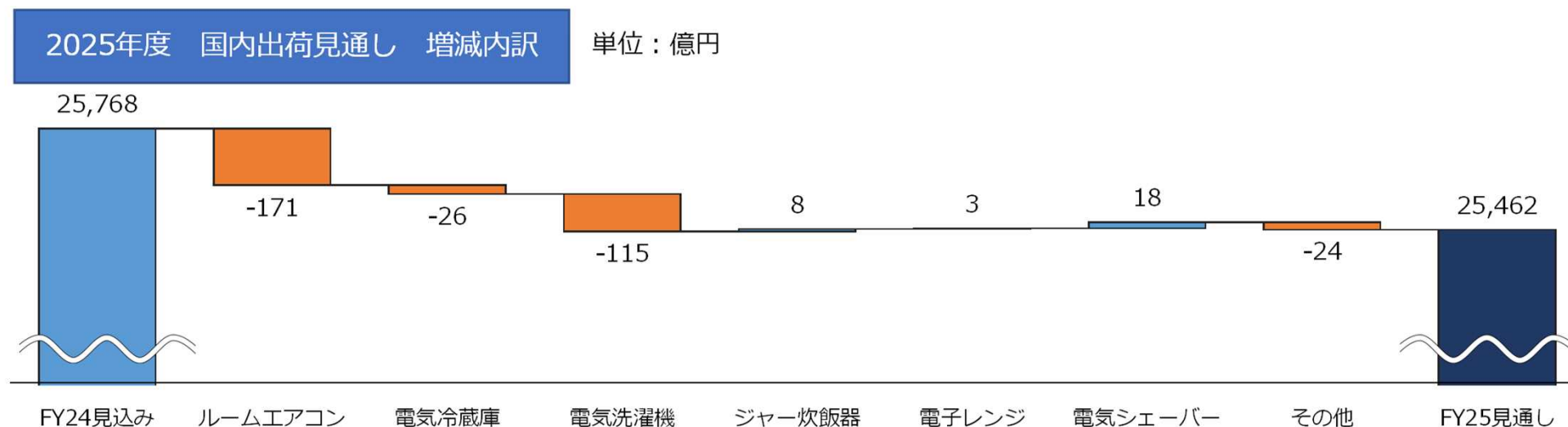


(単位: 億円、%)	2024年度 見込み	2025年度 見通し	前年度 見込比
白物家電機器合計	25,768	25,462	98.8
ルームエアコン	8,371	8,199	98.0
電気冷蔵庫	4,110	4,084	99.4
電気洗濯機	3,839	3,724	97.0
ジャー炊飯器	1,043	1,051	100.8
電子レンジ	950	953	100.3
電気シェーバー	573	591	103.2
その他(上記品目以外)	6,884	6,860	99.7

#### 【備考】

- 1: 国内出荷実績は、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)による
- 2: 国内出荷見込み、見通しは、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)をベースにJEMAが策定した
- 3: 端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合がある

### 3-2 2025年度 国内出荷見通し 増減内訳（白物家電機器）

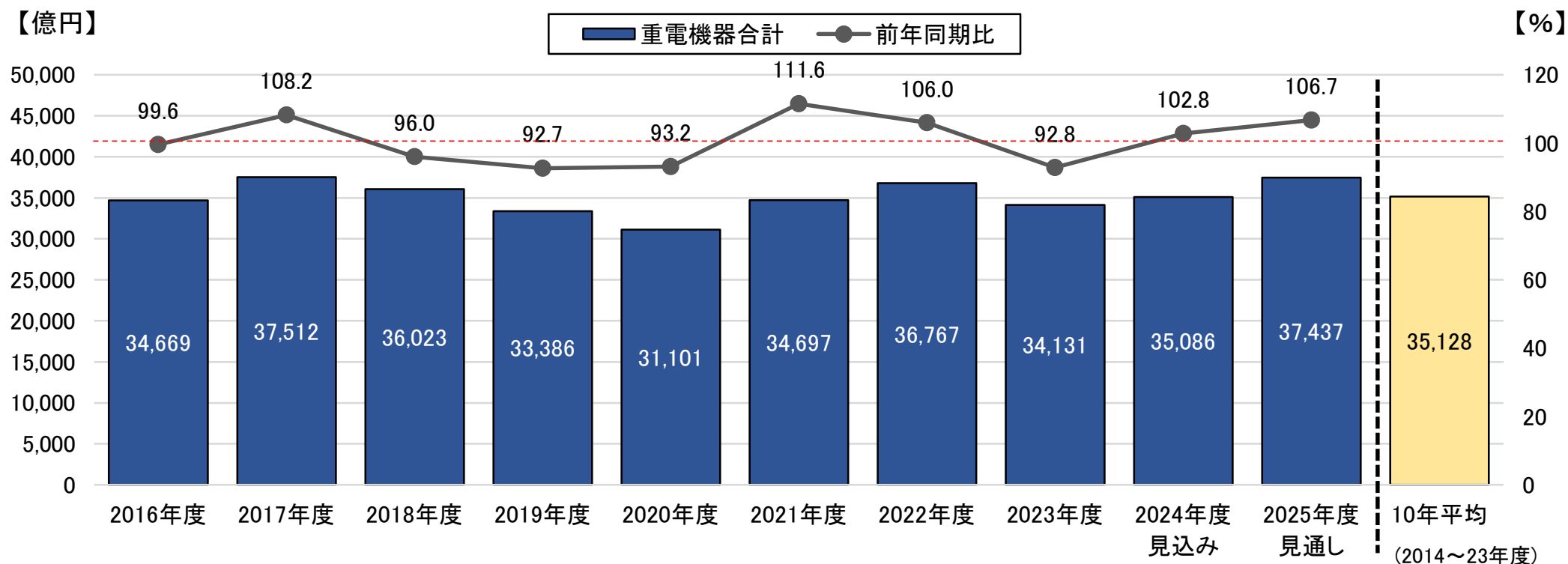


主な増減要因	
ルームエアコン	・ 前年の反動減に加え、新築需要の減少により、前年度を <b>下回る</b> 見通し
電気冷蔵庫	・ 世帯構成人員の減少による大型→中型シフト等により、前年度を <b>下回る</b> 見通し
電気洗濯機	・ 緩やかな市場縮小に伴う国内出荷数量の減少が継続し、前年度を <b>下回る</b> 見通し
ジャー炊飯器 電子レンジ	・ 引き続き高機能高付加価値製品の人気の押し上げ、前年度を <b>上回る</b> 見通し
電気シェーバー	・ 引き続き旺盛なインバウンド需要を含め、市場は堅調に推移することで、前年度を <b>上回る</b> 見通し

---

## 參考資料

# 1. 【重電機器】 国内生産額推移－年度別



【出所】実績：経済産業省 生産動態統計／見込み・見通し：JEMA統計

## 2. 【重電機器】国内生産額 見込み/見通し－生産分類別



経済産業省 生産動態統計の品目を、JEMAが受注形態別に「受注生産品」と「産業用汎用電気機器」に分けて分類しました

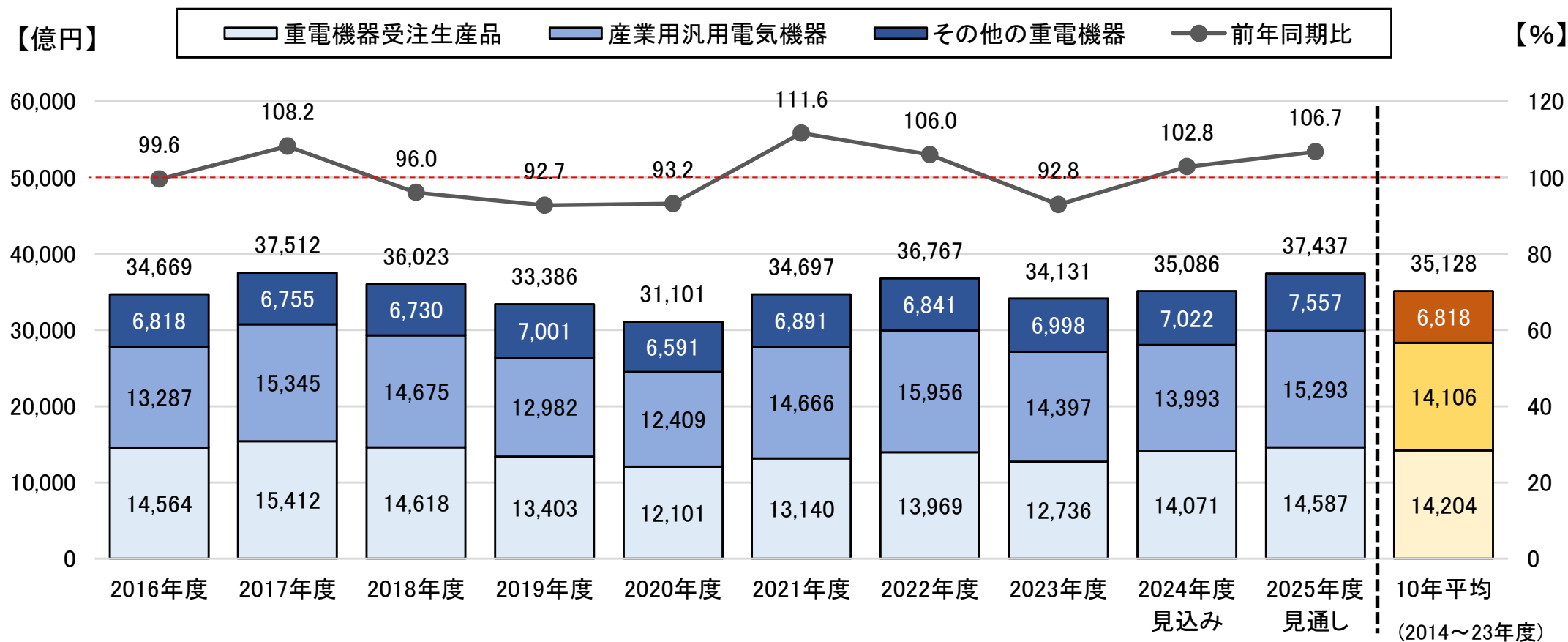
(単位:億円、%)	2024年度 見込み		2025年度 見通し	
	金額	前年度実績比	金額	前年度見込比
重電機器合計	35,086	102.8	37,437	106.7
受注生産品*1	14,071	110.5	14,587	103.7
発電用原動機	3,009	120.6	3,029	100.7
電力・産業向け電気設備	11,062	108.0	11,558	104.5
産業用汎用電気機器*2	13,993	97.2	15,293	109.3
その他の重電機器*3	7,022	100.3	7,557	107.6

出所:経済産業省 生産動態統計/見込み・見通しはJEMAが策定

- \*1 受注生産品: 発電用原動機(蒸気・ガスタービン等)、発電機、大容量変圧器等  
電力及び産業用(自動車、鉄鋼等)向けの電気設備
- \*2 産業用汎用電気機器: 汎用インバータ、サーボモータ、プログラマブルコントローラ等  
需要先が多岐にわたる、主に標準仕様で生産する量産品  
流通は代理店経由が多い
- \*3 その他の重電機器: 電気炉、電気溶接機、分電盤等  
機器としては重電機器受注生産品または産業用汎用電気機器であるが、  
データとして分類できない機器

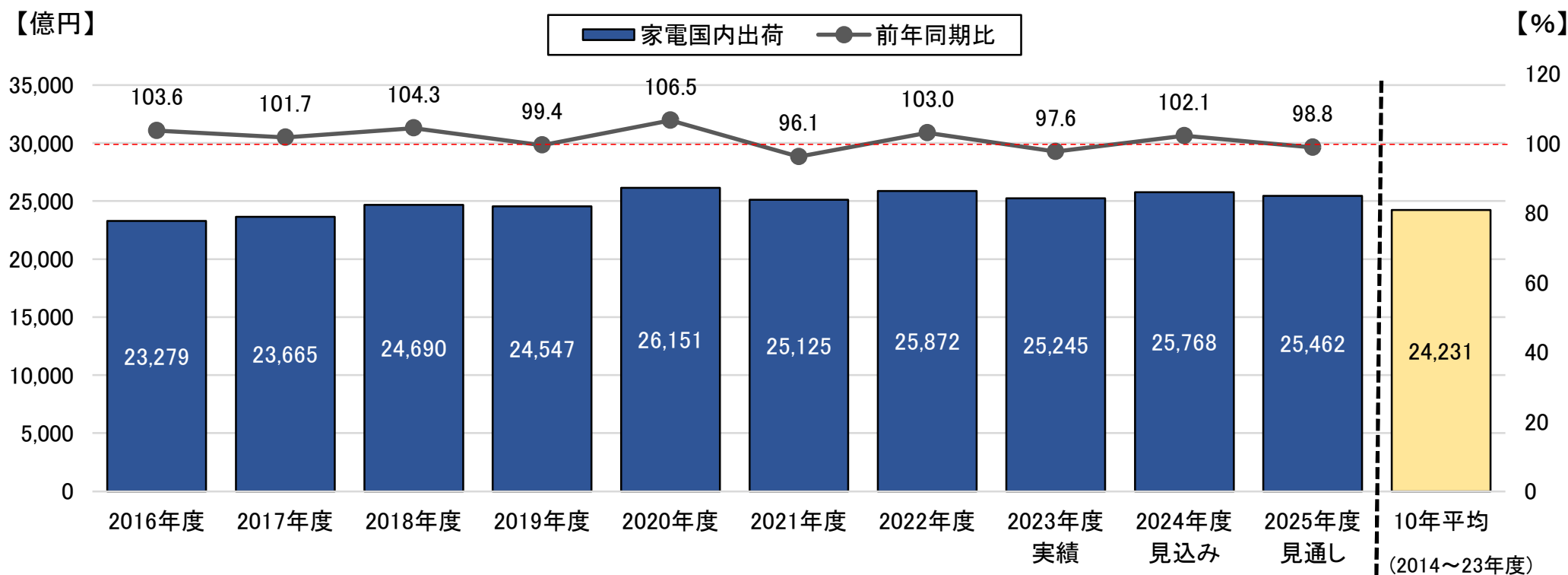
【備考】端数四捨五入のため、積み上げ値と合計が一致しない場合がある

### 3. 【重電機器】 国内生産額推移－生産分類別



【出所】実績：経済産業省 生産動態統計／見込み・見通し：JEMA統計

## 4. 【白物家電機器】 国内出荷額推移－年度別



【出所】JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)